

【選考理由書】

組織名称：株式会社 長瀬土建

主な事業：土木建設工事の施工業務

従業員数：24 名

認証取得：ISO9001 (2000 年) ISO14001 (2002 年)

1. 事業の特性

ゼネコン、大手建設会社、公共団体等から建設事業、一般土木施工管理、舗装事業、森林開発事業など、多様な施工業務を受注している。小規模組織の特徴を活かして、トップダウンで業務を推進している。また、社内の全容が把握しやすいことから、従業員から出される意見・提案も多く、業務の難易度・規模に応じて適宜振り分けて実施している。建設業界の元請責任ルール、公共事業などの発注者ルール、社内ルール、作業所毎のルールなどがあり、これらをうまくリンクさせていく必要がある。

2. マネジメントシステムの特徴

第一の特徴として、人材育成のために ISO を導入・活用し、1 つの仕事を誰がやっても同じようにできるようにしている。また、多くの社会貢献活動を全員で実施しており、社会と協働した取組みを当然と考えた活動を展開している。さらに、ISO のマンネリ化防止と従業員の相互啓発のため、月 1 回の「チェックパトロール」と年 4 回の「取組み発表会」に全員が参加し、MS が上手く機能しているかの確認や各自の取組みの発表を行っている。

第二の特徴として、工事のリスク確認チェックシート(100 項目以上)を使用し、事前にリスクを調査してから工事計画を立てている。最もリスクの高い「A」が付いた場合は施工打合わせ時に、事前に協議書を出してやり取りを行う。また、住民の反対が想定される場合は、住民対策に力を入れ、社会貢献活動実施や地域意見交換会などを開催している。作成されたチェックシートは課題が発生する毎に見直しを行い、最良の状態を保っている。

第三の特徴として、工事の期間短縮を図るために、プロジェクト管理手法である CCPM (クリティカルチェーン・プロジェクトマネジメント)を取り入れ、目的の達成、実行による成果、一般からの評価、を明確化するために工事毎の ODSC (目的・成果物・成功基準)シートを開発し、活用している。ODSC シートは、下請全部を含んだ作業員全員の意見を取り入れて作成しており、完成品・発注者の評価、無事故、工事による利益などの成果につながっている。この結果は、従業員の給与や処遇に反映されている。

3. 成果

主要資材の再生資源利用率は、平成 20 年から 25 年までの推移を見ると「アスファルト混合物」では、54.3% 62.4% 67.4% 73.8% 89.7% 97.8%、「路盤材」では 49.3% 55.2% 85.3% 87.4% 96.8% 99.5%と大きく向上している。また、ODSC シートの活用などにより、工事現場の事故が着実に減少している。

以上より、株式会社長瀬土建の EMS 活動は、事業の特性に応じた特徴のあるマネジメントシステムを構築・運営することで着実な成果をあげており、高く評価できる。